製品安全データシート

作成日 2007年 3月 8日
改訂日 2011年11月30日

1.製品及び会社情報

製品名	OSカラーSK－E800 白
会社名	オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電話番号	0594-72-6488
FAX番号	0594-72-6253
担当部門	製造部 工場管理課
整理番号	M3309

2.危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性

経口:	区分5
経皮:	区分5
吸入（ガス）:	分類対象外
吸入（蒸気）:	区分5
吸入(粉塵、ミスト):	区分5
皮膚腐食性/刺激性:	区分3
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分2

感作性

呼吸器:	区分外
皮膚:	区分外
生殖細胞変異原性:	区分外
発がん性:	区分1
生殖毒性:	区分2
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分1（呼吸器系、中枢神経系、腎臓、血液系、肝臓）
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分1（呼吸器系、肺、腎臓） 区分2（血液系）
吸引性呼吸器有害性:	分類できない

水生環境

急性有害性:	区分外
慢性有害性:	区分外

GHSラベル要素

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	飲み込むと有害のおそれ 皮膚に接触すると有害のおそれ 吸入すると有害のおそれ 軽度の皮膚刺激 重篤な眼への刺激 発がんのおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 臓器(呼吸器系、中枢神経系、腎臓、血液系、肝臓)の障害 長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、肺、腎臓)の障害

長期または反復暴露による臓器(血液系)の障害のおそれ

注　意　書　き:≪予防策≫

使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋および保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないように、換気装置を使用し暴露を避けること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

≪対応≫

皮膚等に付着した場合:医師の手当てを受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の手当を受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の手当を受けること。
漏　出　し た 場　合:漏出物を回収すること。

≪保管≫

容器を密閉して、直射日光を避け換気の良い冷暗所に施錠し保管すること。
子供の手の届かない所に保管すること。

≪廃棄≫

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分:　混合物
化 学 名 又 は 一 般 名:　合成樹脂エマルション(アクリル樹脂)系塗料
成分及び含有量
(危険有害性物質を対象):

化学名又は一般名	含重量	CASNo.
結晶質－石英	10 ～ 20%	14808-60-7
二酸化チタン	1 ～ 10%	13463-67-7
クリストバライト	1 ～ 10%	14464-46-1
エチレングリコールモノブチルエーテル	1.0%未満	111-76-2

4.応急措置

吸　入　し た 場　合:　蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮 膚 に 付 着 し た 場 合:　付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の手当てを受けること。

目　に　入　っ た 場　合:　直ちに大量の清浄な流水で15分以上充分洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ速く医師の手当てを受けること。

飲　み 込　ん だ 場　合:　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の手当てを受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消　　火　　剤: 全ての消火剤

特 有 の 消 火 方 法: 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
可燃性の物を周囲から素早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされている密閉容器は、水をかけて冷却する。
消火作業は可能な限り風上から行う。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/
保護具及び緊急時措置: 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項: 流出した製品が河川や下水等へ排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の
方法・機材: 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
水での洗浄等も河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7.取扱い及び保管上の注意

取 扱 い 上 の 注 意: 取扱いは、換気の良い場所で行う。
容器はその都度密栓する。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は、手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

保 管 上 の 注 意: 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。

8.暴露防止及び保護措置

設　　備　　対　　策: 特別に必要ない。

管理濃度及び許容濃度:

	管理濃度	許容濃度 ACGIH(TLV-TWA)	IARC
結晶質－石英	－	0.025mg/m^3	1
二酸化チタン	－	10mg/m^3	3
クリストバライト	－	0.025mg/m^3	1
エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm	20ppm	3

保護具

目 の 保 護 具: 保護眼鏡を使用する。

手 の 保 護 具: 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

呼 吸 器 の 保 護 具: 作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用する。

9.物理的及び化学的性質

形　　状: 液体

色　　: 白色

臭 い (臭 い の 閾 値): 僅かにアルカリ臭有り

ｐ　　Ｈ: 該当せず

融 点 ・ 凝 固 点: 該当せず

沸　　点: 100℃

引　　火　　点: 測定値なし
自然発火温度(発火点): 測定値なし
爆　発　範　囲: 測定値なし
蒸　　気　　圧: 測定値なし
蒸　気　密　度: 測定値なし
密　　度: 1.3
水に対する溶解性: 測定値なし
n－オクタノール／水分配計数: データなし
分　解　温　度: 測定値ない
そ　　の　　他: 容易に水に分散

10.安定性・反応性

安　　定　　性: 通常の取扱いについては安定である。
避けるべき条件: 特になし。
混触危険物質: 特に情報を有していない。
危険有害な分解生成物: このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合はCOなどの有毒ガスが発生する恐れがある。

11.有害性情報

成分の健康有害性情報
(危険有害性物質を対象):

①結晶質－石英

発がん性	区分1A
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1（呼吸器系）
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1（呼吸器系、腎臓）

②二酸化チタン

眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分3（気道刺激性）

③クリストバライト
データなし

④エチレングリコールモノブチルエーテル

急性毒性(経口)	区分4 LD_{50} 1746mg／kg(ラット)
(経皮)	区分2 LD_{50} 135mg／kg(ラット)
(吸入蒸気)	区分2 LC_{50} 450ppm／4H(ラット)
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/刺激性	区分2A
生殖毒性	区分2
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1（中枢神経系、腎臓、血液、肝臓） 区分3（気道刺激性）
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分2（血液）

12.環境影響情報

生　　態　　毒　　性: データなし
残留性/分解性: データなし
生　体　蓄　積　性: データなし
土壌中の移動性: データなし
他の有害影響: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

水生環境有害性:

	水生環境・急性有害性	水生環境・慢性有害性
結晶質－石英	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分外	区分4
クリストバライト	データなし	データなし
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分2	区分外

13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託すること。

汚染容器: 内容物を完全に除去した後に処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国内規制: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
船舶安全法には該当しない。
航空法には該当しない。

国連番号: 該当なし

応急措置指針番号: 該当なし

15.適用法令

〈製品〉 労働安全衛生法施行令 第57条の2

16.その他情報

引用文献 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)公表データ
安全衛生情報センターホームページ公表データ
(社)日本塗料工業会「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」
(社)日本塗料工業会「MSDS用物質データベース」
溶剤ポケットブック
危険防災救急便覧
国際化学安全カード(ICSC)
各原材料製造会社の製品安全データシート

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。